

## 週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2011.08.22~08.26

記事の詳細は、情報検索サービス

『キジサク』でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月22日(月)

中国の車メーカー開拓  
曙ブレーキ / 伊藤忠と提携強化  
曙ブレーキ工業は、伊藤忠商事と中国の自動車用ブレーキ製造・販売で提携を強化する。伊藤忠の資金力や販売網などを活用、手薄だった現地資本の自動車メーカーとの取引拡大を狙う。(1面)

パンドー化学、代理店1.5倍  
全33省に代理店網

パンドー化学は、伝動ベルト事業で、2011年度中をめどに中国の販売代理店を1.5倍の約30店に増やす。現在、21代理店を置いているが、全33省の代理店網を整備する計画。(7面)

東洋アルミ、箔を中国生産  
ベーストは印・インドネシア増産

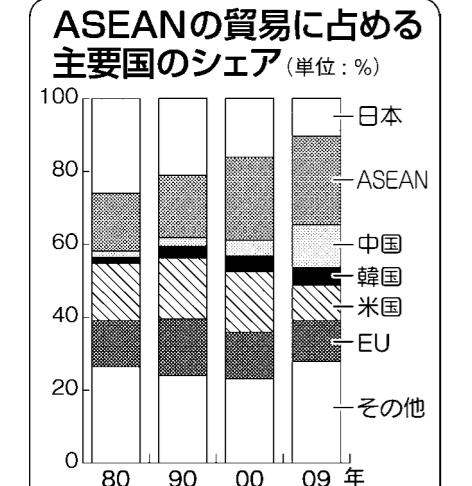
東洋アルミニウムは、海外生産を拡大する。食品用パッケージのアルミ箔で初の中国合弁生産を計画。アルミベーストはインドとインドネシアでの生産を増強、電子機能材でも中国増産。(14面)

中国版「アセアンセンター」  
北京に10月/急接近

中国政府は、10月にも中国版「アセアンセンター」を北京市に設立する。ASEANとの貿易、投資、観光、文化交流を活発化。韓国も2009年3月にセンターを設置。中韓が急接近。(24面)



中国・北京のパソコン売り場(ブルームバーグ)。米調査会社IDCが23日発表した4~6月期のパソコン出荷台数は、中国が約1850万台で米国を約80万台上回り、四半期ベースで初めて首位に立った



8月23日(火)

MRI生産、中国から日本に  
GE/信頼性向上

MRIは、磁気共鳴断層撮影装置(MRI)の主力モデルの中国生産の一部を日本に移管する。日野工場にラインを新設し、9月に稼働。月産数台。顧客への信頼性向上につながると判断。(7面)

中国で車載消火具を生産  
月産1万~2万本/ワイビーシステム

ワイビーシステムは、9月初旬から中国工場で車載消火具を生産する。月産1万~2万本。ポンベを除く部品すべてを現地調達し、価格を約300元(約4200円)に抑える。(5面)

東芝、モーター月5万台  
「GB2級」認証を取得  
東芝は、中国市場向けの出力55%以下

日亜鋼業、メッキ鋼線中国生産  
天津に工場/年2万トン

日亜鋼業は、中国でメッキ鋼線の生産を始める。現地のメッキ鋼線メーカーとの共同出資で天津市に工場を建設、2012年8月稼働。土木用フェンスなどのメッキ鉄線を年間約2万トン強生産。(14面)

蘇州も廃棄物ゼロに  
富士ゼロックス/リサイクル拠点

富士ゼロックスは、江蘇省蘇州市の事務機器リサイクル拠点における2010年度の再資源化率が99.8%となり、事实上の「廃棄物ゼロ」を達成した。日本、タイと合わせ全拠点で達成。(17面)

下の低圧モーターの販売で2015年度に現行比5倍の月5万台を目指す。高効率モーターが中心。中国のモーター規制「GB2級」の認証を取得。(9面)

南京にビル用ドア工場  
コマニー/年産能力30万m<sup>2</sup>

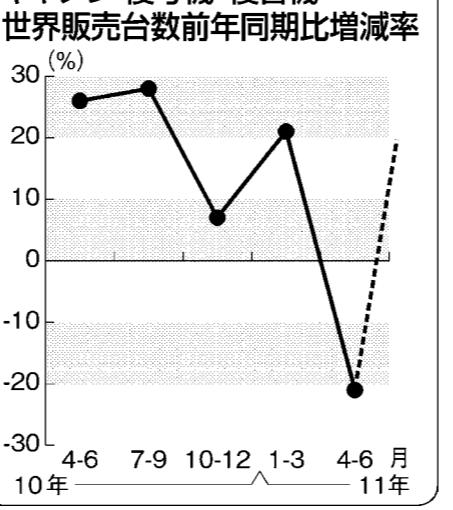
コマニーは、2013年1月をめどに南京市でビルや工場向けドアを生産する工場を稼働する。年産能力は30万平方m。すでにある工場と合わせた年産能力は72万平方m。ビルの建設が好調。(19面)

8月24日(水)

キヤノン、中国で増産  
複合機/震災前の5割アップ

キヤノンは、複写機や複写・印刷・読み取りなどの複数機能を備える複合機を

キヤノン複合機・複合機  
世界販売台数前年同期比増減率



8月25日(木)

9月から中国で増産し、主要製品の生産台数を東日本大震災前の平常時に比べ約50%増やす。(1面)

ルネサス、中国電機大手と提携  
エアコン/省エネ制御技術

ルネサスエレクトロニクスは、中国電機大手の奥克斯(AUX)集団とマイコンを用いた制御技術の開発で提携した。エアコンに組み込むインバーター制御技術を共同開発する。(1面)

ラオックス、株主総会で承認  
家電量販最大手の傘下入り

ラオックスは、東京都内で臨時株主総会を開き、中国の家電量販最大手、蘇寧電器の投資会社などを割当先とする第三者割当増資を実施し、同社の子会社となる議案を承認した。(3面)

東洋電機、南京で増産  
エレベーター向けセンサー/年14万台

東洋電機は、10月に中国でエレベーター向けセンサーの生産能力を増強する。現地法人の南京華洋電気の敷地内に工場棟を新設し、センサーを27%増の年間14万台とする。(9面)

水処理各社、中国に主戦場  
クラレ・三菱レイヨンなどが合弁

クラレは、中国企業と合弁会社を設立し、中国の水処理市場に参入する。クボタ、三菱レイヨンも今春、合弁を設立。世界最大市場への成長する中国で、日本企業がスタートラインに続々。(12面)

微生物を生息させることで汚泥の発生を抑える(クラレの素材)

8月26日(金)

旭化成、日中でMR増員

中国は倍増/日本は800人体制

旭化成は、医薬品事業の営業体制を拡充する。子会社の旭化成ファーマの国内医薬情報担当者(MR)を600人から2014年までに800人に増員。中国でも早期にMRを倍増して600人体制にする。(3面)

三菱電機、上海の合弁始動  
工場の省エネ支援

三菱電機が、中国で工場の省エネ化の支援事業に乗り出した。中国重電大手の上海電気との合弁会社が始動。エネルギー計測ユニットや高効率インバーターなどを提案する。(7面)

LED電球5倍、月20万個

計測技研/深圳に合弁

計測技研は、深圳に合弁会社を9月に設立し、LED電球を生産する。現在は

特許1次審査から  
最終判断までの期間  
(2010年平均)

■韓国で出願後に日本でも出願

日米PPH利用 5.7ヶ月  
通常 9.0ヶ月

■米国で出願後に日本でも出願

日米PPH利用 6.1ヶ月  
通常 9.5ヶ月

出典:特許行政年次報告書2011年版

現地の協力工場で充電機能付きLED電球を月4万個生産しているが、年末には同20万個に引き上げる。(10面)

トレーディングシステム拡販  
マネックス/中国事業加速

マネックスグループは、子会社化した米トレード・ステーションを生かし、中国事業を加速。中国の証券会社にトレーディングシステムやツールなどを提供。米国株式の取り次ぎを展開。(23面)

企業の技術・製品、中国語で紹介  
日華がHP/返信

日華は、IT関連企業の中国進出を支援するホームページ「中日IT商城」を10月開設。有料登録した企業の技術や製品情報を中国語で翻訳して紹介。中国側の反応を日本語で返信。(29面)

ひと  
地方鉄道、運営管理に余地

中国高速鉄道に詳しい日本大学大学院教授の李克さんは「参入余地があるとすれば、地方主導の高速鉄道計画だ。主要幹線と地方鉄道との連絡、高速鉄道と地下鉄との連絡、旅客と貨物を含めた運営管理分野のノウハウで日本の強みを、中国に売り込めるのでは」。(22面=24面)

学生・教員が日常的に行き来  
千葉大学と上海交通大学が、両校に国際共同研究センターを開設。千葉大学長の斎藤康さんは「国際化は人類の繁栄に

とり大切なキーワード」。博士学生の共同学年や国際的な就業体験も手がけ「教員や学生が日常的に両国を行き来することで、国際化が進む」。(23面=27面)

ここも削ったか  
中国は検閲が厳しいよ」と苦笑するのはSB

Iホールディングス社長の北尾吉孝さん。数々の著書が中国語で翻訳されており、今も出版依頼が絶えず引っ張りだこ。出版後見直すと、いろんな部分が削除されており、「この文章も削ったか」と思わず口に。(24面=15面)

州で自動車用防振ゴムの新工場を2012年稼働する。實績工場で生産していたが、供給先のトヨタ自動車の増産体制で、自社工場を建設、能力増強。(5面)

シートパレット、タイで生産  
JX日鉱日石ANC

JX日鉱日石ANCは、タイを中心とした東南アジアで積載効率に優れるシートパレットを拡販する。タイに生産拠点を新設し、食品や自動車、医薬品、家電など日系企業向け開拓。(20面)

名古屋 ソウル、貨物便増便  
アジア航空

アジア航空は、9月21日から名古屋(中部国際空港)ソウル(仁川国際空港)路線の貨物定期便を増便する。増便するのは中部国際空港を水曜日の午前中に出発する便。(21面)

ひと  
すべてのスマホに搭載

スマートフォン向け部品が拡大する中、「戦略製品のメタルアロイコイルはすべてのスマートフォンに搭載されている」と満足感なのは東光社長の川津原茂さん。「来年はベトナムと中国で月2億個生産。ワーカーの確保が難しいが」と受注対応に余念がない。(23日=9面)

目の色が違う  
韓国が最大の強敵

と警戒するのはデンソーアレンジメントセンター社長の萩野幸一さん。ロンドンの技能五輪国際大会にデンソーアレンジメントセンターが4種類で出場する。韓国は国を挙げて大会に臨み、好成績の選手らへの褒賞も手厚い。「選手もコーチも目の色が違う」。(26日=5面)

ASIA

8月22日(月)

富士精工、インドネシアで増産  
ダイヤモンド工具2倍/再研磨も

富士精工は、インドネシアで高付加価値なダイヤモンド工具を増産する。インドネシア工場の生産設備を増強する。生産能力を現在の約2倍に引き上げる。再研磨も手がける。(9面)

半導体、下期に慎重論  
台湾・大手受託製造の業績下落

半導体市況の下期以降の見通しに慎重論が出ている。背景に台湾の大手半導体受託製造のTSMCの業績下降と設備投資の引き下がり。パソコン不振に、スマートフォンも伸びないので。(11面)

スマートフォン依存から脱却できるかが半導体市況を左右する(ブルームバーグ)

「ミスド」、マレーシアに進出  
100店舗目指す

「ミスド」が、マレーシアに進出する。海外展開は6カ国目。22日に1号店を首都クアラルンプール市の近郊にオープンし、2020年までにマレーシアで100店舗の出店を目指す。(19面)



8月23日(火)

日比谷総合設備、東南ア再進出

国内低迷/年度内に新拠点

日比谷総合設備は、東南アジア市場に再進出する。2011年度中をめどに新拠点。80年代、建設設備事業で採算性が低かったため撤退した。国内市場の低迷で再進出する。(6面)

タイで製造子会社を移転  
車向け切削加工/NDK加工センター

エヌ・ディ・ケー加工センターは、自動車のディーゼルエンジン向け切削加工部品のタイ製造子会社をビントン工業団地に移転する。タイ国内向けが中心。インド、ベトナムへの輸出も。(29面)

8月24日(水)

アジア調達品で攻勢  
富士テクノ工業/中国からエンドミル

富士テクノ工業は、アジアの低コスト技術の積極活用に乗り出した。まず中国の超硬工具メーカーからエンドミルをOEM調達し、保証・サポートをつけて輸入販売を始めた。(5面)

アーケーリ、フィリピンに工場  
体外診断用医薬品

アーケーリは、フィリピン・バタンガス州セントマース市に体外診断用医薬品の新工場を完成した。9月12日に稼働予定で、世界で6拠点目、海外では4拠点目の工場となる。(13面)